

聖籠町幼稚園教諭・保育士・保育教諭育成指標 チェックリスト(A 良好 B おおむね良好 C 努力が必要) 自己判断で評価し改善していきましょう!

ステージ		I 基礎形成期(1年目～5年目)		II 能力伸長期(6～12年目)		III 能力充実期(13年目以降)		IV 深化・熟達期(園長・副園長)		
資質・能力		保育者として基礎を確立する		保育者として自立し、積極的に実践を積み重ねる		ミドルリーダーとしての資質能力の向上をめざし園運営に積極的に参画する		リーダーシップを発揮し、組織的に教育・保育を推進する体制を構築する		
保育者としての要素		○常に乳幼児のより良い成長を目指し、愛情と情熱をもって教育活動にあたる。		○常に乳幼児のより良い成長を目指し、愛情と情熱をもって教育活動にあたる。		○常に乳幼児のより良い成長を目指し、愛情と情熱、さらに高い教育理念をもって教育活動にあたる。		○常に乳幼児のより良い成長を目指し、愛情と情熱、さらに高い教育理念をもって教育活動にあたる。		
		○保育者としての自覚をもち、法令等を遵守し誠実かつ公正に職務を遂行する。		○保育者としての自覚をもち、法令等を遵守し誠実かつ公正に職務を遂行する。		○園内に、法令等遵守の気運や誠実かつ公正に職務を遂行する風土を醸成する。		○園内に、法令等遵守の気運や誠実かつ公正に職務を遂行する風土を醸成する。		
		○より優れた教員を目指して、研修等を通して自己研鑽に努め、学び続けている。		○より優れた保育者を目指して、研修等を通して自己研鑽に努め、習得した知識や技術を業務に応用する。		○保育者の模範となるよう、研修等を通して自己研鑽に努め、園内研修において中心的な役割を果たす。		○一人一人の保育者の自己研鑽の場を確保し、園全体の研修を深める。		
		○ICT機器の基本的な操作方法、情報モラルについて理解し、必要に応じてICTを活用している。		○園務及び保育等に必要ICTスキルを身に付け、個人情報保護を遵守し、各種情報を適切に扱うことができる。		○ICTの効果的な活用方法などを共有し、自園における研究推進の中心的な役割を果たす。		○自園のICT環境の整備や活用方法の研究を推進し、課題解決に向けて組織的に取り組む。		
		I 基礎形成期(1年目～5年目)	チェックリスト	II 能力伸長期(6～12年目)	チェックリスト	III 能力充実期(13年目以降)	チェックリスト	IV 深化・熟達期(園長・副園長)	チェックリスト	
乳幼児保育	乳幼児理解	○乳幼児との積極的な関わりの中で、発達を理解し、適切な指導や支援をする。		A B C	○様々な情報に基づき、乳幼児の心情や行動を的確に理解し、一人一人の成長・発達の実態に即した適切な指導や支援をする。		A B C	○指導の経緯や多様な情報から乳幼児の状況を的確に理解・対応し、他の保育者からの相談に対しても、一人一人に応じた適切な助言をする。		A B C
	保育の構想	○乳幼児の実態に応じ、目的や意図を明確にした指導計画を作成する。		A B C	○乳幼児の実態や教育課程に対応するために、ねらいと評価を踏まえた指導計画を作成する。		A B C	○園の特色を生かし、発達の連続性・関連性や小学校教育との連続を見通して、創意工夫のある全体的な計画を作成する。		A B C
	保育実践(環境・かかわり)	○乳幼児の興味や関心を踏まえ、動きや活動を予測しねらい及び内容を明確にして環境構成をする。 ○一人一人の遊びの状況を把握して、ねらいに向かう支援を適切に行う。		A B C	○乳幼児の興味や関心を捉え、遊びの展開に応じて具体的なねらいと内容を設定し、遊びのプロセスを意識した環境構成をする。 ○個と集団の育ちを意識し、遊びの展開に応じて必要な支援を適切に行う。		A B C	○園内の研究主題に応じた効果的な教材や指導方法を工夫し、乳幼児の状況や発達段階を的確に捉えて環境構成をする。 ○見通しや振り返りを乳幼児と共有しながら、主体的な活動を促す支援を適切に行う。		A B C
	振り返り・改善	○乳幼児の姿や保育を振り返り、次の保育実践に生かす。基本的な指導技術の向上に取り組む。		A B C	○乳幼児の姿からねらいや内容を修正したり、環境を再構成したりして、指導に活かす。自己の専門性の向上、課題や苦手分野の改善に取り組む。		A B C	○保育実践から環境構成や指導方法を振り返り、園内研究の充実を図り、適切な助言をする。		A B C
	集団づくり(人間関係づくり)	○乳幼児の実態を捉えながら適切に集団づくり(人間関係づくり)を進める。		A B C	○一人一人の乳幼児の発達を踏まえ、創意工夫をしながら実態に応じた集団づくり(人間関係づくり)を進める。		A B C	○一人一人の乳幼児の発達を踏まえ、園全体の集団づくり(人間関係づくり)を推進する。		A B C
園運営	職員間の連携・協働	○組織の一員として協力し、仕事の進捗状況や重要な情報は、速やかに報告・連絡・相談を行い対応する。		A B C	○自分の考えを伝えるとともに、相手の立場を理解しながら対応する。仕事の進捗状況や重要な情報は、速やかに報告・連絡・相談を行い連携を密にする。		A B C	○担当学年や分掌の主任等としてそれぞれの立場を理解し、保育者間の連携を図り、計画的・組織的に職務を推進する。		A B C
	園務分掌	○担当学年や分掌の仕事を着実に実行する。		A B C	○園務分掌の業務を、周囲の保育者と調整しながら遂行している。		A B C	○園務分掌等の進捗状況を適切に管理し、助言をする。		A B C
	危機管理	○園内の危機を認識し、予防と対応を適切に実施する。		A B C	○園内の危機の未然防止に努め、予防と対応を迅速に行う。		A B C	○園全体の危機回避と危機対応を意識して取り組む。		A B C
子育て支援	特別支援	○特別な支援を要する乳幼児に対応する基本的な知識・技能を身に付ける。		A B C	○特別な支援を要する乳幼児の特性を理解し、一人一人の教育的ニーズに応じた合理的配慮をする。		A B C	○特別な支援を要する乳幼児の特性に応じて、計画的・組織的に対応する。		A B C
	家庭・地域との連携	○保護者と、乳幼児についての情報交換を通して良好な関係を築き、相談しやすい雰囲気をつくる。		A B C	○保護者の不安や悩みに寄り添い、受容的に受け止めながら適切に助言する。保護者に、教育・保育の意図を伝える。		A B C	○保護者や地域との連携を推進する。保護者に教育・保育のプロセスや乳幼児の育ち、学びの価値を伝える。		A B C
園小連携	園小接続	○幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を理解して実践する。		A B C	○「幼保小の架け橋カリキュラム」を理解し、交流などを通して地域の小学校と積極的な連携を図る。		A B C	○近隣園や小学校との交流や協議会を通して、園と小学校のつながりへの理解を深める。		A B C